

R5 年度 保護者の皆様からのご意見 より

『最初は先生か親か見分けがつかず、同じ服にするが名札を付けるか、して欲しいです。先生の名前(担当ではない)が全く分からないので、声がかげづらいです。』

- ・子ども達と同様に、保育教諭も一人一人の個性と感性を大切にしたいと考え、日々の生活の中に制服は取り入れていません。職員であることが分かりやすくなるよう保育教諭の顔写真と名前を玄関に貼っておく等工夫を行います。

『帳面の内容で詳しく聞きたい時もあったので帳面にもイニシャルでもいいので記名をお願いしたいです。』

- ・連絡帳の内容はクラス全体で共有しています。質問や詳細を確認したい場合には、お声をかけていただければ、クラスの担任がお答えします。また、○月×日のことの様子…と質問いただければ記名した職員が対応することもできるかと思えます。

『月刊絵本の購入は導入当初のように任意にして欲しい。子どものツボにはまらないと家で 1 回も読んでと言われず、他の本を持ってきます。子どもも園であまり読んでいないと聞きました。持って帰っても使わないため、すぐに処分しているご家庭もあるようです。SDGS の観点からも子どもの教育にもよくないと思います。ご家庭それぞれのご意見もあると思いますが、周囲のお話を伺うにすべてのご家庭が購入というのはどうかと思います。』

- ・いつもお家で絵本を読んでくれているということが分かる意見で嬉しく思いました。色んな絵本に触れて欲しいという思いで取り入れている月刊絵本でもあります。月刊絵本は、自分の知らない絵本との出会いや子どもの意外な興味や発見に気付く機会でもあります。また、子ども達が繰り返し楽しむことのできる共通体験の一部として、また、園と家庭とで同じ絵本を共有したいという願いを持って、取り入れています。0・1・2 歳児クラスでは毎週末、家庭に絵本を持ち帰ることで、園でのお子さんの様子を、発達を踏まえて伝えることができ、成長を喜び合うことができる 1 つとなっていると感じています。

昨年 2 月に行ったアンケートの「家庭でどのような絵本を読んでいるか？」の設問に対し“月刊絵本”と答えた家庭が一番多かったです。

年齢が上がるにつれ物語が長くなり、個々に好みも見られるようになることで、保育の中に取り入れられていないクラスもある現状も感じています。今後、園内研修を通し、月刊絵本の活用を学び直すことで、月刊絵本が、お子さんにとって友達と楽しんだ思い出の 1 冊となるように努めていきたいと思っております。園の大切な特色として取り組んでいますので何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

『夏は地域のお祭りに参加させていただき、良い経験となりましたが、厳しい暑さの中、熱中症等体調が心配になってしまうことがありました。すでに十分ご配慮いただいているとは思いますが、何とかならないかな…と思ってしまいました。』

- ・コロナ禍が収束に向かい、地域の行事も再開され、今後も子ども達の参加の機会が増えてくると思います。近年の異常気象から、地域の方ともよく相談し、お子さんの健康・安全面に十分配慮して参加できるようにしたいと思います。

『子どもから園のことをあまり言われないので、何かあれば知らせて欲しい。手紙が禁止とかも周りのママから言われて知った。キャラもの、スカート系？が禁止のはずなのに持っている子、着ている子がいるのは、こちらは禁止と子どもに言っているのに持って行ってもいいのか？となる。』

- ・園としてのお願い、大切にしている事は「園のしおり」等でもお伝えしていますが、なかなか理解していただけない現状があり、園では、個別に対応しているところです。ご家庭では、誰かがしているから良いのではなく、「園では園のルールを守って生活する所」とお子さんに伝えていただきますようご協力をお願いします。

手紙については個人的なものではなく、園での遊びの中で楽しんでいきたいと思いますのでご理解ください。

『運動遊び教室や♪の日の回数を増やしてほしい』

- ・講師を招いての教室は月に1回の体験ですが、園では体験したことを踏まえ、日々の教育・保育の中に、各クラスで学んだことを取り入れ、活動を行っています。指導を受ける機会を増やすのではなく、子ども同士が日々の遊びの中で「おもしろいな」「やってみたいな」と主体的に遊ぶことによって、非認知能力(物事をやり抜く力、自制心、協調性など)が培われることを大切にしていきたいと考えています。

『全園児参加の行事を増やしてほしい。保護者参加の行事を作してほしい。』

- ・保護者同士がつながりを持つ機会となるような場を設けられるように検討していきます。

『子どもはいつも遊んでいる園庭に親が来て一緒に遊び、出来るようになった喜びを感じ合い、親は普段の園庭での姿を間近で見られる…そんな時間もあるとお互いに喜び合えるのでは？と感じました。もちろん、その際は携帯撮影などなしで存分に遊び合う1時間だけでもいいからそんな開放日？または、学年であってほしいなと』

- ・貴重なご意見ありがとうございます。どのような実施の仕方が良いのか、今後検討していきます。